

History | 山中湖センター100周年

YMCAがこれまで大切にしてきたキャンプには、
いつの時代においても可能性と喜びがあり、
その経験を通じて多くの人が育ち、変えられてきました。

小林彌太郎氏 山中湖畔購入 「天幕キャンプ」の始まり

日本で初めて組織キャンプのための常設
キャンプ場を開設。日本のYMCAが行って
いる組織キャンプ「第2回全国中等学生
キャンプ」が山中湖で実施。



東京YMCA主催
「第1回年少組テント生活」開催

自然環境を加味した 木造キャピンの新設

テントの老朽化により自然環境を加
味した対策として、木造キャピンが新
設。戦時中は「山中湖山荘」と和名で呼
ばれ、陸軍が使用することも。



第1代 トーテムポール設置

山中キャンプのシンボルとして第1代
トーテムポール設置。以降第2代、第3
代と受け継がれる。



第6回

「手足の不自由な子どものキャンプ(現
在のCDC)」を山中キャンプで開催



「山中湖山荘」から
「山中キャンプ」と
呼ぶことを決定

統合のキャンプ第1回
「フレンドシップキャンプ」
を山中キャンプで開催

1923

1925

1927

1931

1932

1933

1940

1947

1958

1962

1963

1977

1979



小林彌太郎氏
東京YMCAに山中湖畔を寄贈



初代食堂新設
日本ではじめての家族キャンプ
「第1回東京YMCA家族キャンプ」開催

「東京YMCA学生キャンプ」
で女性の参加の扉を開く



戦後、農地解放の危機で原直治郎氏と
その家族が山中湖に移住

戦後初の「キャンプ指導者養成講習会」
を山中キャンプで実施。キャンプ振興の
ための人材養成と方向性を画策



第2代キャピン建築



日本初ユニバーサル
キャンプ場へ

心身に障がいのある者への配慮を施し、
鉄筋コンクリートの建物の建設に着手。
日本で初めてのユニバーサルデザインの
キャンプ場へ。

小林 彌太郎

コロンビア大学でジョン・デューイに師事。実践主
義の当時としては進歩的な教育を学んで帰国し、東
京YMCAの少年事業に心血を注いだ。
「少年たちのためにキャンプ場を作りたい」と考えて
1923年、山中湖畔に巨額の私財を投じて土地を購
入。モーターボートや棧橋などの整った常設キャン
プ場をつくり、東京YMCAに寄付した。

